

「ひとつひとつ」

はじめましての方も、そうでない方もこんにちは。このコイノニアは……という話はおそらくこの冊子のはじめかあとがきあたりにされていることと思いますので、ここでは省かせていただきたいと思います。

なんていうどこかで見たような挨拶から始まりましたけれども、今回は自分が好きな聖書の言葉のお話をさせていただけたらなと思っています。

「いずれにせよ、わたしたちは到達したところに基づいて進むべきです。」

フィリピの信徒への手紙 3章16節

この言葉は自分が事あるごとに思い返す言葉です。苦しい時、楽しい時。失敗したときや何かもうまく言ったとき。特に大学に入ってからよくこの箇所を読み返します。

そもそもこの箇所は「ゴールを目指して一生懸命頑張りなさい！！」と勧めているまどまりの最後の方にあるところでよく教会などではそのあたりが取り上げられることかと思っています。しかし、それにもまして、自分が好きなところはここ16節です。

話は変わりますが、自分は某都立 T 川高校の出身なのですが、そこでは同窓会が長野県のスキー場の近くに山荘を持っていて、毎年冬に高校生たちがスキー教室をやっています。そして、その運営を大学生の卒業生の有志がやっています。そのスタッフを自分もやっているのですが、大学一年生のころはなれない環境と理不尽な先輩の元いろいろ叱られたりして大変だったときにこの言葉に、とても支えられました。

結局信仰にしても、勉強にしても、その他のことにしてもより成長するためには今の自分を認識してその上で努力をする必要があると考えさせられます。もともとできることをやり続けていても更なる成長にはつながらないですから。(もちろんまったくの無意味ではありませんが。)

大学生活長いですが、一つ一つの神様からいただいた時間を無駄にしないように生活していきたいものです。